

Q

暮らしに寄り添う改革で
西宮を変える候補者は？

ヒント



- 1 元市議会議員(6期)
- 2 医療・福祉政策の推進(命を守るための地域交通網の整備)
- 3 子ども政策に全力(体育館エアコン設置を実現)
- 4 行財政改革のプロ(財政再建に全力)

A

答えは…



スマホカメラで
読み取ってください!

本気で変える、
あなたと。

投票へ行こう!

※公職選挙法の規定により候補者の顔写真や氏名を記載することが禁止されているためシルエットを用いています。

3.29(日) **西宮市長選挙**

期日前投票は 3月23日(月)~3月28日(土)

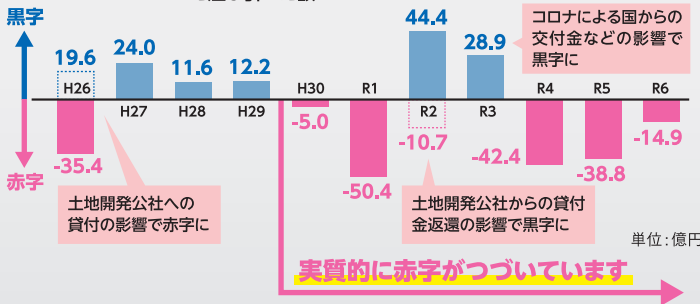
あなたの1票が西宮の未来を変える!



継続か

× 事実上7年連続で財政が赤字

実質単年度収支 単年度収支から、実質的な黒字要素(財政基金への積立額、地方債の繰上補選額)を加え、赤字要素(財政基金の取り崩し額)を差し引いた額

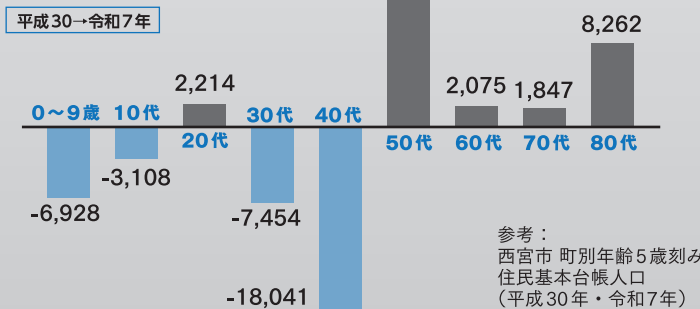


参考①: 西宮市政ニュース 1677号 令和6年(2024年)11/25掲載
参考②: 西宮市政ニュース 1698号 令和7年(2025年)10/25掲載

現市長の就任以降、事実上7年連続で西宮市では赤字が続いています。今の西宮市は、新しい取り組みや既存事業の拡充に十分に予算を充てられない状態です。

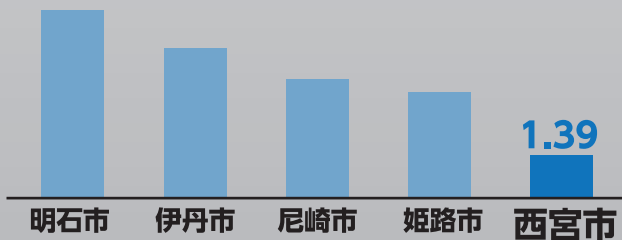
× まちを支える世代の流出

各年代の人口動態増減数グラフ



西宮市では、この8年間で30代・40代の人口が減少しています。このままでは、未来の西宮を支える人がいなくなってしまう。

× 合計特殊出生率は近隣都市を下回る



赤字が続く財政、まちを支える世代の減少。安心して暮らせる西宮ではなくなっている。

刷新か



新市長の誕生で、市民に投資できる西宮へ!

生活の負担を下げる物価高対策

- 地域商品券(バウチャー)で生活支援と地域経済を活性化
- 公共施設の使用料負担の軽減
- 指定ゴミ袋の効果検証と見直し
- 水道・下水道料金の値上げを止める

年を重ねても、障がいがあっても安心して暮らせる西宮へ

- 地域公共交通の利便性向上
- 防犯カメラ・防犯灯を増設し安心を確保
- 塩瀬・山口地域の救急体制強化

親子を支える教育・子育て支援

- 保育所待機児童をゼロに
- 第2子以降の保育料無償化
- 放課後キッズの全校拡大
- インクルーシブ教育・保育の強化

持続可能な財政構造への転換

- 市長報酬3割カットから始める財政改革
- EBPMで事務事業を徹底評価し、必要な分野に集中投資
- デジタル化で「待たない市役所」を実現
- 公共施設の稼働率向上と再編の検討

自由民主党 総裁
高市 早苗

私たちも応援する
市長候補へ1票を!
あなたの1票を!

日本維新の会 代表
吉村 洋文